

週刊 学びのコミュニティ

第42号

平成22年2月10日発行



授業紹介No.7

第7弾は共創型学習『名著購読－生き抜く力とは何か？－』です。

(火曜日 9・10 時限／担当：香川 順子准教授)

この授業では、NHK番組『プロフェッショナル 仕事の流儀』の文献を中心に、毎週担当者を決め、発表と議論を行いました。皆さんと一緒に、現代に求められる「プロフェッショナル」とは何かを考えながら、現代社会を生き抜いていくために何が必要なのかを考えていくものです。

今回皆さんに選んで頂いたのは、次のプロフェッショナル達です。

リゾート再生請負人、パティシエ、盲導犬訓練士、絵本作家、脳神経外科医、ヘリコプターパイロット、リンゴ農家、カーデザイナー、ユニセフ職員、小児心臓外科医、飲料メーカー、パイロット（社会人のお話）、海上保安官

これらの多様な職種のプロフェッショナルについて皆さんと読み進めることで、次の共通要素が見えてきました。

それは、専門的な知識・技能を身につけていることはもちろんですが、最後まであきらめずに意志を貫く姿勢、仕事に対する情熱を持ち、努力を重ねていく力、仕事に対するプライドを持つこと、周りの期待に応えられる人、そして最後には人間性が大切になってくることなどです。



これらを通じて、皆さんは、仕事、自己実現、生きる意味について考え、大学時代に何をすべきかについて考えるきっかけになったのではと思います。一部の感想では「いつの間にか、毎回この授業が楽しみになっていました」、「他の授業では学べないことを学ぶ事が出来ました」といった声を頂きました。授業方法についてはまだまだ改善の余地がありますが、良い題材と社会人の方々の参加や交流があってこそ、学生さんへの刺激となり、よい学びにつながっていると確信を持っています。参加者の皆さんがよりよい学びができるよう、授業方法も工夫していきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

実在する様々なプロフェッショナルから学ぶことで、参加者の皆さんにもより具体的な形で伝わった事と思います。

さらに、社会人の方々からも多くのお話を頂きました。ご自身の経験談をお話頂いたり、社会人の方々の経験を

交えながらプロフェッショナルについて語って頂いたりすることで、より重みのある話として

学生さんには伝わったように思います。学生さんは、この授業に参加することで、仕事、自己実現、生きる意味について考え、大学時代に何をすべきかについて考えるきっかけになったのではと思います。一部の感想では「いつの間にか、毎回この授業が楽しみになっていました」、「他の授業では学べないことを学ぶ事が出来ました」といった声を頂きました。授業方法についてはまだまだ改善の余地がありますが、良い題材と社会人の方々の参加や交流があってこそ、学生さんへの刺激となり、よい学びにつながっていると確信を持っています。参加者の皆さんがよりよい学びができるよう、授業方法も工夫していきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

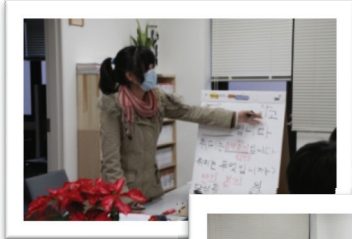


(文責：香川 順子)



♪学習会紹介♪

金曜日、学生支援室はとても賑やかになります。同じ時間にふたつの学習会が開かれているためです。それらの様子を少しご紹介いたします。～みなさまのご参加心よりお待ちしております～



留学生と学ぶ韓国語

韓国からの留学生のおふたりが先生となって行われている、初心者向けの韓国語講座。

参加者は微妙な発音の違いに四苦八苦しつつ、“こんな時はなんて言うの？”“こんな言い返しはする？”など、ざっくばらんに尋ねながら、楽しく学んでいます。韓国のおいしい食べ物や流行っているものなど、生の情報も聞けますよ。

開催日は基本的に毎週金曜日の 15:00 から 1 時間ほどですが、毎回参加者で次の開催日を決めていますので、日程についてはこちらまでご確認ください。

次回は **2月12日(金)** です！



恋のうた学習会

第1回目に堤先生をお迎えして以来、その後は参加者が自主的に学び、毎回活発な意見交換が行われています。もちろん内容は恋のおはなし。“恋に障害はあった方がいい？”とのテーマでは、賛成派と反対派に分かれて、議論が白熱したとか。そして、この学習会の何より素晴らしいのは、参加者たちがこの会を本当に楽しみにしていること。次の学習会はいつですか？そんな問い合わせが度々あります。2月の開催日は

2月12日、19日、26日(金)

15:00～16:30 です！



～編集後記～

誰でも、学校と家、仕事とプライベート…オンの顔、オフの顔、それぞれ違っていることと思います。みなさんがオンになる時、心のスイッチが入る瞬間はどんな時ですか？

私は、かつて幼稚園教諭であった頃、眠い目を擦りつつ、仕事着に着替え（ジャージとエプロンですが）、誰も居ない保育室を開けた瞬間、今日も頑張ろうと気が引き締まったのを覚えています。先生の顔になる、私のスイッチが入る瞬間でした。“プロフェッショナル”と呼ばれる人ほど、その切り替わりは大きいものなのではないでしょうか。（境）